

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

令和 5 年 6 月

那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和 5 年 6 月 2 日 (金)】

- | | | | | |
|---|--------|------------|----|-------|
| 1 | 10:00～ | 議席番号 8 番 | 益子 | 丈弘議員 |
| 2 | 11:15～ | 議席番号 2 4 番 | 山本 | はるひ議員 |
| 3 | 13:15～ | 議席番号 1 7 番 | 相馬 | 剛議員 |
| 4 | 14:30～ | 議席番号 1 4 番 | 佐藤 | 一則議員 |

【令和 5 年 6 月 5 日 (月)】

- | | | | | |
|---|--------|------------|----|------|
| 5 | 10:00～ | 議席番号 2 3 番 | 齋藤 | 寿一議員 |
| 6 | 11:15～ | 議席番号 1 5 番 | 星 | 宏子議員 |
| 7 | 13:15～ | 議席番号 1 2 番 | 中里 | 康寛議員 |
| 8 | 14:30～ | 議席番号 3 番 | 林 | 美幸議員 |

【令和 5 年 6 月 8 日 (木)】

- | | | | | |
|----|--------|------------|----|------|
| 9 | 10:00～ | 議席番号 1 番 | 堤 | 正明議員 |
| 10 | 11:15～ | 議席番号 7 番 | 森本 | 彰伸議員 |
| 11 | 13:15～ | 議席番号 9 番 | 小島 | 耕一議員 |
| 12 | 14:30～ | 議席番号 1 3 番 | 齊藤 | 誠之議員 |

【令和 5 年 6 月 9 日 (金)】

- | | | | | |
|----|--------|------------|-----|------|
| 13 | 10:00～ | 議席番号 2 番 | 三本木 | 直人議員 |
| 14 | 11:15～ | 議席番号 1 1 番 | 星野 | 健二議員 |
| 15 | 13:15～ | 議席番号 2 6 番 | 金子 | 哲也議員 |

受付番号	令和5年5月16日
第4号	午前 11時30分受付 午後

令和 5年 5月16日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

議席番号 8番 益子丈弘

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 海外との連携の取組について	本市の魅力を発信することは、とても重要なことです。そのことで国内外を問わず多くの方々が訪れることにつながります。特に、コロナ後においては、訪日外国人観光客による消費活動を促すことで、地域経済の活性化に寄与するものと考えます。また、海外との連携のなかで、相互理解や幅広い視点から取り組むことは教育的にも大きな成果が期待出来ます。本市においては、令和5年度の主要な事業として、姉妹都市オーストリア共和国リンツ市との中学生海外交流事業やベトナム社会主義共和国カントー市との人材交流、地域経済の活性化、また、台湾では特産品のPRやプロモーション活動、インバウンドに向けたPRなど海外との連携による取組を予定していることから以下についてお伺いいたします。
	(1)海外との連携の考え方について
	(2)海外との連携をする上での課題について
	(3)オーストリア共和国リンツ市との中学生海外交流事業の現状と今後の展開について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(4)ベトナム社会主義共和国カントー市との現状と今後の展開に
	ついて
	(5)台湾との現状と今後の展開について
	(6)市民や企業、団体等を巻き込んだ取組を考えられないか
	(7)今後、近隣市町を含めた展開を考えられないか
2. 街の賑わいについて	街の賑わいは、地域経済の活性化に大きく影響します。活力あ
	る街には多くの人々が集い、経済の循環によって、さらなる活力
	や魅力を生み出し、街の発展に大いに寄与するものと考えます。
	本市は、黒磯駅周辺地区において、都市再生整備計画を策定し、
	コンパクトシティ、都市機能向上、持続可能な都市づくり、中心
	市街地活性化等を実現すべく、那須塩原市まちなか交流センター
	「くるる」や那須塩原市図書館「みるる」等を整備しています。
	各施設において様々な事業が企画され、幅広い年代の方々に利用
	されています。また、黒磯駅周辺地区では、街なかでの周遊、買
	い物をされる方々が歩道を行き交う姿も確認できます。さらなる
	賑わいの創出と今後の展開を期待することから以下についてお伺
	いいたします。
	(1)那須塩原市まちなか交流センター「くるる」の現状と課題に
	ついて
	(2)那須塩原市図書館「みるる」の現状と課題について
	(3)市民や事業者との連携による賑わいの創出について
	(4)賑わいの創出のための部局を越えた事業の連携について
	(5)黒磯駅前以外の駅前の賑わいの創出について

受付番号	令和 5年 5月15日
第1号	午前 10時 09分受付 午後

令和 5年 5月 15日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 24 番 山本 はるひ

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. プラスチックの分別回収と リサイクルについて	<p>市は、環境省の「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」の採択を受けて、厚崎公民館でプラスチックの分別回収とリサイクルの実証事業を行いました。その結果を踏まえ、那須塩原市のプラスチックの回収品目や回収方法について検討していくとのことです。</p> <p>そこで、市内全地域でのプラスチックの拠点回収（分別回収）とリサイクルについて、考え方と今後の予定を伺います。</p> <p>(1) プラスチック回収の現状と「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」の結果について伺います。</p> <p>(2) プラスチックリサイクルの市としての考え方と、具体的な実施方法、拠点回収の実施時期について伺います。</p> <p>(3) プラスチックの拠点回収とリサイクルの今後の展望と課題について伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>(4) プラスチック回収とリサイクル事業は、那須塩原市単独ではなく、周辺市町や栃木県と連携、協力して行うことで成果が上がると思います。市の考えを伺います。</p>
<p>2. 公民館使用料の適正化について</p>	<p>公民館は学習・文化活動・レクリエーション活動などの生涯学習や地域づくりなどの交流・活動拠点として、市民の方々が利用することのできる社会教育施設です。</p> <p>市内には15の公民館があり、那須塩原市公民館条例によれば、「公民館事業に支障のないかぎり利用を許可することができる」「利用は無料とする」と明記されています。</p> <p>このたび「第3次那須塩原市行財政改革推進計画」が示されました。その実行計画のなかに「受益者負担の適正化」という項目があり、取り組みの名称は「使用料・手数料の見直し」となっています。</p> <p>この「使用料」の中には「公民館の使用料」も含まれると思うことから、公民館の利用と使用料についての考え方を伺います。</p>
	<p>(1) 公民館の利用状況について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策前も含めて伺います。</p>
	<p>(2) 社会教育法では、公民館が行う事業として「その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること」と規定されています。公民館で市民(住民)が行う活動はすべて「公共的」な活動だと考えてよいのか伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 運動場などの体育施設は使用時間単位で利用料を決めています。公民館が原則無料である理由(根拠)を伺います。
	(4) 「第3次那須塩原市行財政改革推進計画」では、「受益者負担の適正化」という取組項目の中に「使用料・手数料の見直し」が入っています。公民館使用料について、「適正な受益者負担に基づいた使用料」をどのようにとらえているか、公民館使用料の見直しを考えているか伺います。

受付番号	令和5年5月15日
第3号	午前 11時28分受付 午後

令和 5年 5月15日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 17 番 相馬 剛

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
1. ごみ減量化等対策	第2次那須塩原市総合計画後期基本計画の基本政策1,	市民生活部長
について	施策4の「資源を有効に活用する」の中で主な取組として、	総務部長
	1 ごみの発生抑制と分別の徹底、2 ごみの適正処理、3 市廃	
	棄物処理施設の安定稼働と計画的な整備、としています。	
	前期計画でも同様の取組を進め、ごみの発生量について	
	は、令和3年度実績547g/1人・1日となり、さらに令和9	
	年度の目標値を498gとしています。また、不法投棄物の	
	回収量も平成29年から比較して、令和3年では約15%減	
	となっています。計画の目指す姿は、市民・事業者・市の	
	協働による取り組みとしており、その成果だと思えます	
	が、市はどのように評価しているか次の項目について伺い	
	ます。	
	(1) ごみの発生抑制と分別の徹底について	
	(2) ごみ処理の有料化について	
	(3) 事業系ごみの減量と資源化について	
	(4) 廃棄物処理施設の長寿命化と改修について	
	(5) ごみの資源化率向上に向けた取組について	

質問事項	質問の内容（詳細）	答弁を求める者
2. 学校部活動の地域	部活動の地域移行の背景は、主に少子化による部員不足と	教育長
移行について	指導教員の働き方改革と理解しています。昨年12月にスポ	教育部長
	ーツ庁は部活動の地域移行ガイドラインを公表し、地域に	
	移行する方策は、「学校部活動から地域部活動への転換」と	
	して本年度から休日の部活動を段階的に地域に移行する。	
	さらに、合理的かつ効率的に推進するため、「他校との合同	
	部活動」「地域スポーツクラブ」「競技団体」などへ移行す	
	る方針を示していますが、受け皿となる地域、指導者、活	
	動する環境、活動費用など多くの課題が指摘されている中	
	で、本市の現状と取組を以下の点について伺います。	
	(1) 部活動の地域移行の現状について	
	(2) 部活動の設置者と地域の定義について	
	(3) 受け皿となる団体や組織について	
	(4) 指導者の人材確保について	
	(5) 地域スポーツ団体の学校施設利用について	
	(6) 地域スポーツ団体の中学校体育連盟への加盟につい	
	て	
	(7) 活動費用負担について	
	(8) 本市が理想とする部活動の地域移行の将来像につい	
	て	

受付番号	令和 5年 5月 15日
第2号	午前
	午後 11時 00分受付

令和 5年 5月 15日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 14番 佐藤 一則

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 鳥獣害の対策について	鳥獣害は古くて新しい地域課題とされています。現在でもイノシシやシカ等が農地に侵入するのを防ぐために石を積み上げた「シシ垣」が、各地に残されています。江戸時代には武士だけでなく、農民にも鉄砲が広く普及していたことが知られていますが、この背景として、鳥獣害対策のための脅し鉄砲が、農民の暮らしにとって必需品だったことが一因であると考えられています。野生鳥獣と人間のあつれきの問題は現代人だけでなく、我々の祖先も取り組んできた、古くて新しい地域課題といえます。鳥獣害は、農林水産業、生活安全、自然生態系の幅広い分野で生じ、深刻化しています。これまでは主に野生鳥獣の主要な生息地である中山間地、あるいは里山において生じるものとして理解されてきました。しかし近年では、都市域に侵入した野生鳥獣が人間の生活や生命を脅かす事例も増加しており、鳥獣害は、より広域化・顕在化しています。21世紀に入り、被害対策を求める声が高まり、関係する法律の改正が相次いでなされました。鳥獣害の発生を防止または、被害による損失を抑制するには野生鳥獣による加害力への理解と、人間社会の被害防止力の向上という二つの要素が関係してくるとされています。野生鳥獣の加害力への理解には、野生鳥獣に関する科学的な知識や、個体数あるいは分布域の動向等の科学的な情報が重要となります。一方で、被害防止力の向上では、被害地域から餌資源をなくすための環境管理、追い払いや侵入防止柵の設置などの技術的な情報に加えて、個人・組織・社会のまとまりや

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>地域ぐるみの協力行動も重要と考えられています。農山村だけでなく、住宅地や道路など人の生活圏にも頻繁に野生鳥獣が出没するようになり、鳥獣害は、全国でも大きな社会問題になっています。人口減少や里山の荒廃、耕作放棄地の増加等は、結果として野生鳥獣に生息地を提供する他、人の生活圏との境界を曖昧にするため鳥獣害は、本市にとっても今後より一層深刻な問題となることが予想されることから、以下について伺います。</p>
	(1) 個体群管理について
	① 誰がどのように管理しているのか
	② これまでの管理によってどのように変化したのか
	③ 今後の管理目標はあるのか
	(2) 侵入防止対策について
	① 侵入防止対策の現状について
	② 今後の対策について
	(3) 生息環境管理について
	① 生息環境管理の現状について
	② 今後の対策について
	(4) 住宅地や道路などの人の生活圏に出没した時の対応について
	(5) 自助、共助、公助の連携体制について

受付番号	令和 5年 5月 16日
第5号	午前 2時 17分受付 午後

令和 5年 5月 16日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 23 番 齋藤 寿一

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市文化財保存活用地域計画 について	<p>2019年4月施行の文化財保護法の改正を受け、「那須塩原市文化財保存活用地域計画」を策定しました。同計画で歴史文化資源に関する保存活用について「歴史をつなぎ未来を拓き新しいまちのストーリーをみんなでつくろう」を基本理念に掲げ文化財の保存、活用についての課題と方針、今後取り組む事業を記しています。このほど文化庁長官の認定を受けたことから以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 本市の指定及び登録文化財の種別及び件数について</p> <p>(2) 基本理念に掲げた「つなぐ・拓く・つくる」において、今後の保存活用について</p> <p>(3) 文化財保存活用区域を3つの区域と設定しましたが、今後の課題と方針について</p>
2. スポーツツーリズムの推進 について	<p>2021年に開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」また2022年に「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が開催されスポーツに対する機運醸成が図られたところですが、本市においては、2023年度から計画期間となる</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>「第2次那須塩原市総合計画」において、スポーツに関わる部門として計画が示されており、スポーツ・健康まちづくり(那須塩原モデル)を掲げ今後こうしたレガシーを継承し、大規模なスポーツ大会を開催しプロチームや社会人チームの試合開催やスポーツ合宿の誘致を行うスポーツコミッションを市として推進することから以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) スポーツコミッションの体制づくりにあたり県との連携について</p> <p>(2) 競技力向上の三大要素(練習・栄養・休養)発掘・磨き上げについて</p> <p>(3) 魅力を伝えるプロモーション活動の実施内容について</p> <p>(4) 学生チームトレーニングキャンプ(合宿)モニターツアーについて</p>
<p>3. 塩原視力障害センター跡地取得について</p>	<p>平成25年3月に廃止された塩原視力障害センター跡地取得に関しては市として平成29年5月に跡地取得に関する要望書を財務省宇都宮財務事務所へ提出しており、約5万平方メートルの内土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を除いた約2万平方メートルの取得を要望していることから以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 財務省宇都宮財務事務所との交渉の進捗状況について</p> <p>(2) 今後どのように取得を進めていくのか</p>

受付番号	令和 5年 5月 16日
第7号	午前 4時 40分受付 午後

令和 5 年 5月16日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 3 番 林 美幸

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. コロナ後における ONSEN・ガス トロノミーツーリズムについて	<p>新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、これまで長年蓄積してきた経験やノウハウ、確立してきた仕組みが通用しない非常事態でありました。新型コロナウイルスにおけるアフターコロナの時代として、今後も価値観や行動様式が大きく変わることが予想されます。そのようなピンチの中においても、本市は令和元年以降転入超過となっております。本市の豊かな自然環境や温泉、那須塩原ブランド、日本遺産等の地域資源を価値あるアイテムと捉え、本市の特色を活かした ONSEN・ガストロノミーツーリズムを展開することは、地域活性化や地域経済の発展になると考えることから、以下について伺います。</p> <p>(1) ONSEN・ガストロノミーツーリズムのこれまでの実績と効果について</p> <p>(2) 温泉と連携した施策の展開について</p> <p>(3) 民間団体と連携した施策の展開について</p> <p>(4) 日本遺産と連携した施策の展開について</p> <p>(5) 広域連携としての考え方について</p> <p>(6) コロナ後の ONSEN・ガストロノミーツーリズムについて</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 有機農業の推進について	<p data-bbox="639 237 1473 1339">農林水産省は、2021年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定し、生産力向上と持続性の両立に向け、2050年までに農林水産業のCO₂のゼロエミッション化の実現や事業系食品ロス の最小化を図る食品産業等が目指す姿と取組の方向性を示しています。その中の環境保全として、化学農薬使用量の50パーセント低減、化学肥料使用量の30パーセント低減を目指し、有機農業の推進を進めることとしています。主要な品目について農業者の多くが取り組むことができるよう、次世代有機農業に関する技術 を確立し、耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25パーセントに拡大することを目指すとしています。本市においても、那須塩原市農業振興計画「那須塩原市元気アップアグリプラン」 として、観光マスタープラン、地域福祉計画等との関連計画との整合性を図るとともに、計画の位置付けが示され、地域資源を活かした農村地域の活性化が知名度の向上になると考えられる ことから以下について伺います。</p> <p data-bbox="639 1373 1473 1641">(1) 本市の有機農業の実施状況と課題について (2) 有機農業推進の考え方と、今後の取組内容について (3) 有機農産物の給食への導入について (4) 有機農産物の価値の創出としての考え方について</p>
3. フードドライブについて	<p data-bbox="639 1758 1473 2094">フードドライブとは、家庭や企業などで余っている食品を集めて地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動であり、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」において食品ロス削減のための施策のひとつとして位置づけられています。食品ロス削減と貧困対策を推進する</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>ことができるため、本市としてより進めることが必要であると考</p>
	<p>えることから、以下について伺います。</p>
	<p>(1) 本市のフードドライブの現状と考え方について</p>
	<p>(2) 市民への意識啓発の取組について</p>
	<p>(3) 今後の考え方について</p>

受付番号	令和5年5月18日
第11号	午前 2時55分受付 <input checked="" type="checkbox"/> 午後

令和 5年 5月19日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 1番 堤 正 明

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 子育て支援における子育て相談課の役割について	<p>子育て支援の中でも、最優先で取り組む必要があるのは、困難を抱えた子どもや家族への支援だと考えることから以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 子育て相談課設置の経緯について</p> <p>(2) 子育て相談課の業務と体制について</p> <p>(3) 子育て相談課の主な相談内容と対応について</p>
2. 学校におけるいじめ防止対策について	<p>市民から学校におけるいじめの相談が寄せられています。</p> <p>日本国憲法第26条は「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」と定められています。</p> <p>また、いじめによる不登校で学習の機会が奪われることがあってはならないと考えるとともに、いじめの加害者・被害者ともに基本的人権を有すると考えることからお聞きします。</p> <p>(1) いじめの定義について</p> <p>(2) いじめの相談件数について</p> <p>(3) いじめの防止対策について</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(4) いじめの対応について
	(5) 子どもの人権保護について
3. ゆータク再編と地域公共交通について	令和5年3月定例会議にて「ドア to ドア方式のデマンド交通の
	導入を求める」陳情が全会一致で採択されました。
	本市のゆーバス・ゆータクの見直しについてお聞きします。
	(1) ゆータク再編の具体化について
	① 再編の目的
	② 再編の検討について
	③ 再編開始までのスケジュール
	④ 市民の声の反映について
	(2) ゆーバス・ゆータクの見直しについて
	(3) 高齢化社会に適した地域公共交通のあるべき姿について

受付番号	令和5年5月18日
第9号	午前 3時55分受付 午後

令和5年5月18日

那須塩原市議会議長

様

議席番号 7 番 森本 彰伸

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. コロナ後の観光政策について	<p>観光は、本市にとって大切な産業であります。世界中がパニックに襲われた新型コロナウイルス感染症の影響下にあつて、本市は観光事業者のPCR検査の徹底や感染状況の落ち着いている間の観光支援事業など数々の対策を打ってきました。それらの政策は本市の観光事業者への一定の援助になったと評価をしています。渡辺市長の、観光客にも責任をもってもらう「レスポンスブルーツーリズム」の考えを始め、パンデミックの中での新しい観光のあり方を模索していく政策の成果として本市は、2年連続で「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出されました。これからは世界中からの観光客の受け入れにも期待がもてます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は今年の5月8日から季節性インフルエンザなどと同等の第5類に分類され、全国各地の観光地にも多くの観光客が戻ってきています。コロナ以前、本市は海外からの観光客の受け入れという意味では、決して先進的ではなかったと感じています。これからの観光地は、海外から、国内各地からそして市内や近郊からの観光客まで、多様なスタイル、多様な人々のニーズに応じていく事が求められます。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>アフターコロナの社会において、様々な観光客に本市の観光資源を存分に楽しんで頂き、同時に本市全体として観光客を受け入れ、その利益を享受していくことを望み以下の事についてお伺いします。</p>
	<p>(1) 今後の感染症対策について</p>
	<p>(2) 本市の観光資源について</p>
	<p>① 観光のテーマ設定について</p>
	<p>② 日本遺産の活用について</p>
	<p>③ グルメ旅行への対応（市としてどんな物を促進するか）について</p>
	<p>④ 自然環境の活用と安全性の確保について</p>
	<p>⑤ 移動手段について</p>
	<p>(3) 海外からの観光客への対応について</p>
	<p>① ターゲティングについて</p>
	<p>② 文化の違いに対する対応について</p>
	<p>③ 食に対する対応について</p>
	<p>(4) 市民の観光産業への理解と関わりの促進について</p>

受付番号	令和5年5月18日
第10号	午前 4時30分受付 午後

令和5年5月18日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 9 番 小島 耕一

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. まつりのあり方について	<p>実質的に市が中心となって実行委員会を運営する「西那須野ふれあいまつり」、「那須野巻狩まつり」、「西那須野産業文化祭」、「なすしおばらし畜産フェア」、「開こん記念祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係から、令和2年、3年に開催を中止しており、昨年度はいちご一会とちぎ国体等に注力することから中止しました。本年度は、より充実したまつりにするための検討を行うことから中止とし、4年間大きなまつりが無い状況が続いております。</p> <p>市民は、新型コロナウイルス感染症で多くの行事が無くなり3年が経過したことから、まつりが無いことに徐々に慣れており、まつりへの関心も低下してきております。</p> <p>一方、新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ感染症法における5類に分類され、感染防止対策も緩和されてきたことから、全国各地からまつり復活のニュースを聞いており、本市のまつり開催を待ち望んでいる声も聞こえます。</p> <p>そこで、これらのまつりを見直すとしておりますが、どのような視点で見直すのか質問いたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>(1) 開始の経緯などそれぞれのまつりの歴史について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西那須野ふれあいまつり ・那須野巻狩まつり ・西那須野産業文化祭 ・なすしおばらし畜産フェア ・開こん記念祭 <p>(2) まつりの問題点と課題について</p> <p>(3) まつりの今後のあり方について</p> <p>(4) 本年度の見直しのスケジュールについて</p>
<p>2 アートを活かしたまちづくりについて</p>	<p>近年、地域の活性化や魅力づくりの一助として、アートを鑑賞できる場を美術館や展覧会ばかりでなく、ビエンナーレやトリエンナーレなどのアートフェスティバルが全国各地で開催され、アートは地域の新たな個性や魅力を引き出す取組みとして期待されています。</p> <p>本市には、奈良美智氏の作品展示スペース「N ' s YARD」や菅木志雄氏の作品を展示している「菅木志雄倉庫美術館」があり、国際的に高い評価を得ている現代美術を鑑賞できる環境にあります。また、那須野が原博物館には彫刻家南庄作をはじめとする本市にゆかりのある芸術家の作品を集めており、市内には平成27年の国勢調査によれば180人と推測されるアーティストが在住し、制作と発表活動に励んでいます。</p> <p>市では黒磯駅前周辺地区「那須塩原市まちなか交流センター（くるる）」や「那須塩原市図書館（みるる）」にアート機能を整備し、それを核としてアートを活かしたまちづくりを具現化するために</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	平成 30 年に「アートを活かしたまちづくり戦略(2018 年～2021
	年)」を策定しました。
	しかしながら、戦略を開始すると共に新型コロナウイルス感染
	症の影響で推進は厳しかったのではないかと思います。
	この戦略の計画期間は終了していますが、この戦略は魅力的な
	内容を含んでおり、今後も継続を期待することから質問いたしま
	す。
	(1) アートを活かしたまちづくり戦略の実績について
	(2) アートを活かしたまちづくり戦略の評価について
	(3) アートを活かしたまちづくり戦略の残された課題につい
	て
	(4) アートを活かしたまちづくり戦略の今後の展開について

受付番号	令和 5年 5月 22日
第12号	午前 10時 8分受付 午後

令和 5年 5月 22日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 13 番 齊藤 誠之

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. より良い中学校生活をおくるために	<p>本市の教育は、人づくり教育を要とし、今年3月には第2期那須塩原市教育振興基本計画を制定しました。教育長が掲げるワクワクドキドキする学校教育を展開するための各種指標が示されました。社会で通用する人づくりを行うためには、子ども達自身が学校や地域などで学び、培った経験がものをいうものではないかと考えます。本市の教育として、より良い学校生活をおくるためには、学校側から提供していただくだけではなく、子ども達が自発的に考え、主体性をもって話し合い、自分たちで決めて、それを受けて学校や保護者、そして地域が支援することが、とても重要なことである思うことから、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 校則について</p> <p>①校則をどのように捉えているかお伺いいたします。</p> <p>②校則の定め方についてお伺いいたします。</p> <p>③学校独自で特徴がある校則があればお伺いいたします。</p> <p>④生徒たちが主体的に話し合い、校則の改正が行えた事例や、反対に改正までは至らなかった事例があればお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	⑤今後の校則の在り方についてお伺いいたします。
	(2) 制服について
	①本市の中学校では、男子生徒は詰襟の学生服、女子生徒はセ
	ーラー服の学校が多くを占めていると思います。ここ数年で、多
	様性の尊重や、機能的かつ快適さによってもたらされる心身の健
	康への配慮等から、制服の変更をしている自治体もありますが、
	市内中学校の制服の現状についてお伺いいたします。
	②制服について、生徒、保護者等からの相談、意見はあがって
	きているかお伺いいたします。
	③本市でも制服の議論や対応をすべき時期ではないかと考えま
	すが、教育委員会の考えをお伺いいたします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 本市の公園整備について	<p data-bbox="651 241 1485 427">本市の公園は、那須塩原市公園長寿命化計画に基づき管理されており、その形態は様々で、総合公園、都市緑地、運動公園、街区公園等が設置されております。</p> <p data-bbox="651 472 1485 658">公園には、「良好な都市環境の提供」、「都市の安全性・防災性の向上」、「レクリエーションの場の提供」、「地域交流の場」といった4つの役割があると言われております。</p> <p data-bbox="651 703 1485 958">公園は人々の憩いの場であり、多世代が集う場所です。今後もまちづくりの根幹を担う公園を維持、あるいは発展させていくことは、とても有益で重要であると考えことから、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="671 1003 1347 1037">(1) 本市の公園についての所見をお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1081 1481 1182">(2) 那須塩原市公園長寿命化計画に沿って管理運営されていくことが示されているが、課題についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1227 1485 1482">(3) インクルーシブ遊具については、過去に質問をし、今回の計画の中にも、その設置について更新時期にかかわらず改修を検討することとされましたが、改めて遊具の設置の有効性と設置に向けた市の考えをお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1527 1485 1639">(4) 公園のトイレのバリアフリー化の進捗状況についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1684 1485 1796">(5) 他の自治体では、公園の防災機能が備わっている場所もありますが、市の所感をお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1841 1485 1942">(6) 今後、都市公園等の配置と機能の再編についての考えはあるかお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1986 1485 2087">(7) 公園の整備していくうえで、市民の意見を踏まえることが必要であると考えますが、市の考えをお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>(8) 公園の運営に関しては、数々の課題があるなかで、近年公園の有効活用についてPark-PFI（公募設置管理制度）が広がりつつあります。この制度について、本市の考えをお伺いいたします。</p>

受付番号	令和5年5月22日
第15号	午前 0時00分受付 午後

令和5年5月22日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

議席番号 2番 三本木直人

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 接骨木地区における養鶏場の新規計画について	この件について、前回、令和5年3月定例会議において質問しましたが、その後の経過について伺う。 (1) 大規模土地利用に関する県事前協議の進捗について伺う。 (2) 市や事業者などは、3月以降何らかの地域住民への説明は行ったのか伺う。 (3) 今回の新規計画については、不安に感じている地域住民も多く存在しています。このような地域住民に対し、市としてはどのように考えているのか伺う。
2 那須高林産業団地内の地中障害物について	令和5年3月定例会議において、同様の質問があったが、新たに2区画分の損害賠償金2億5,584万円を立地企業2社に支払うこと、また、損害賠償金額が多額であることから、あらためて市の対応及び3月定例会議からの進捗、今後の方針等について伺う。 (1) 今回の損害賠償金は、3月に支払った損害賠償金の2倍以上の額になる理由について伺う。 (2) 立地企業及び原因者に対しての今後の対応について伺う。

受付番号	令和5年5月22日
第13号	午前 10時17分受付 午後

令和5年5月22日

那須塩原市議会議長 山形紀弘様

議席番号 11 番 星野健二

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 道の駅「明治の森・黒磯」について	<p>「道の駅」は平成5年の制度創設以来、現在全国登録数は1,204カ所が設置されています。直販所ブームをきっかけに、その数が激増したといわれています。これまでの「道の駅」は、休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能の3つの機能を合わせ持つ休憩施設として、私たちの生活に根付いてきましたが、制度発足から30年が経過する中、近年は多様なニーズへの対応や、需要増大にあわせた施設の増設・改修が増えてきました。また、地元の学校や住民組織、企業など多様な主体と協働する事例も少なくありません。「道の駅」は道路利用者への単なる休憩機能を持った施設から、地域住民のための交流施設や防災施設、そして地域創生における拠点へと、今やその役割は大きく変化しており、地元の名物や観光資源を活かして多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。</p> <p>本市も、令和6年に道の駅「明治の森・黒磯」がリニューアルオープンする予定です。この「道の駅」が那須塩原市の地域ブランドとなり、全国から選ばれる施設になることを期待し、以下の点についてお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 道の駅「明治の森・黒磯」の利用者へのアンケート結果につ
	いてお伺いいたします。
	(2) 指定管理者の選定を含め、今後のスケジュールについてお
	伺いいたします。
	(3) 管理運営方式を第三セクターにした理由を改めてお伺い
	いたします。
	(4) 「明治の森・黒磯」の整備形式は、地方一体型であることか
	ら、県との整備計画についてお伺いいたします。
	(5) 基本コンセプトに基づく、施設整備に対する整合性と地域
	事業者との連携についてお伺いいたします。
	(6) 本市が目指す道の駅「明治の森・黒磯」の将来像について所
	見をお伺いいたします。

受付番号	令和5年5月22日
第14号	午前 午後 0時00分受付

令和 5年 5月22日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

議席番号 26 番 金子 哲也

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
1. ぽっぽ通りについて	<p>昨年の11月から、ぽっぽ通りの花壇に花植えが始まって半年余り、1週間、2週間と言わず、</p> <p>どんどんいろいろの花が咲いて変化しています。</p> <p>散策している人々が、絶賛してくれています。人間社会の中で花に囲まれた環境がどれだけ人々に影響を及ぼすか。人の心を癒し、どれだけ喜びを与えるか、図り知れないと思います。経済や利便性ばかりがもてはやされがちな社会の中で、たくさんさんの花に囲まれた散策道は、日常生活で、人の心に安らぎを与え、生活の原動力になると思うことから以下について伺います。</p> <p>(1) ぽっぽ通りの一部には、親水施設がありますが、現在、水は枯れて、放りっぱなしになっています。疏水の郷を誇る当市だけに復活することが出来ないのか伺います。</p> <p>(2) 3キロメートルに渡るぽっぽ通りに、水道もトイレも1ヶ所しかありません。増設出来</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>産業観光部長</p> <p>建設部長</p> <p>西那須野支所長</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
	ないか伺います。	
	(3) 駐車場の設置が考えられないか伺います。	
	(4) ぽっぽ通りを花で満たし、日本一の花の散	
	策道とし、観光客を呼び込みたいのですが、市	
	は何らかの支援が出来ないか伺います。	
2. 寄宿舎の廃止問題につ	那須特別支援学校の寄宿舎は建物の老朽化を	教育長
いて	理由に、廃止することになりましたが、その後、	教育部長
	保護者との話し合いなどによって、現在、閉舎延	
	期という状況にあります。	
	県の教育委員会では「インクルーシブ教育」と	
	して障がいがあるなしにかかわらず、誰もが平等	
	に受けられる教育を強調していますが、そんなな	
	かで、一部の障がい者の頼みの綱である寄宿舎を	
	閉鎖しようとしています。	
	(1) 合併後の市立学校における特別支援学級数	
	と児童数の推移を伺います。	
	(2) 那須特別支援学校における那須塩原市児童	
	数の推移を伺います。	
	(3) 那須特別支援学校の寄宿舎における那須塩	
	原市児童数の推移を伺います。	
	(4) 「インクルーシブ教育」を考えた時、寄宿舎	
	の閉舎に対して、教育委員会はどのように考えて	
	いるか伺います。	

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
3. 開こん記念祭について	開こん記念祭がなくなりそうだと聞いて驚い	市長
	ています。西那須野地区の開拓の歴史を一番象徴	西那須野支所長
	するのが開こん記念祭なのではないか。	
	何十年もかけて、やっとここまで築いてきて、	
	もっともっと大切にして、発展させてゆくべき開	
	こん記念祭ではないのか。歴史を大切にしない文	
	化は、やがて亡びると思われます。これまで、合	
	併によって各地域の文化伝統があやうくなって	
	いる今、歴史を大切にすることを考えなくて、い	
	いのでしょうか。	
	市は開こん記念祭をどのように捉えているの	
	か、また、今後どのように考えていくのか伺いま	
	す。	